

「心をかたちに」～言葉と行動、思いやりと支え合い～



緑野

札幌中学校学校だより  
令和6年度卒業式号(488号)  
令和7年(2025年)  
3月14日発行



<http://www.satsunae-j.sapporo-c.ed.jp>

## 「心をかたちに」はじめの一步

校長 鈴木 伸和

卒業おめでとうございます。3年間、お疲れ様でした。

札幌中学校のキーワード「心をかたちに」とありますが、どうしたら「心」を「かたち」にしていけるのでしょうか？卒業してもこのキーワードを忘れてほしくないなので、ちょっと考えてみました。

感謝の言葉で「ありがとう」という言葉があります。

「ありがとう」の語源は、「有り難し(ありがたし)」が変化し「ありがとう」となったと言われています。「有り難し」は、「有ること」が「難しい」という意味で、本来は「滅多にない」や「珍しくて貴重だ」という意味を表しています。「ありがとう」という言葉は人を幸せにします。「ありがとう」を言うと相手が笑顔になります。すると、自分も喜びが増します。「言った本人」も幸せになるので、使えば使うほど得です。

「ありがとう」の反対語は、何になるのでしょうか？

「滅多にない」や「珍しくて貴重だ」の反対の意味から考えると、「あたりまえ」や「当然」という言葉になります。「あたりまえ」という心から「ありがとう」という感謝の心は生まれてきません。出てくるのは不平不満ばかりです。これでは幸せも逃げていってしまいます。

「ありがとう」と「あたりまえ」は、背中合わせの言葉です。みなさんが、「あたりまえ」と思っている日常に「ありがとう」と思えることが大切です。

札幌中学校のキーワード「心をかたちに」のはじめの一步は、あたりまえの日常や普段の些細なことに感謝する「ありがとう」という言葉からはじめてみませんか？



保護者の皆様へ

このたびは、お子様のご卒業おめでとうございます。在学中は、本校の教育活動に対してご理解とご協力をいただき、ありがとうございました。今後のお子様の益々のご活躍を祈念しております。

